

わか え しょう と し ょ 若江小図書だより 10月



涼しく過ごしやすい季節になりました。運動会が終わり、休み時間の図書室にも活気が戻ってきました。ブッククイズを楽しむ子、折り紙を楽しむ子、静かに読書を楽しむ子とそれぞれの過ごし方をしています。10月27日(日)から11月9日(土)は読書週間です。ぜひ図書室に来てください。



どくしょ 読書ノート さつたっせい 50冊達成おめでとう！

1学期から読んできた本が、50冊をこえている子が出てきました。現在、6人、集会で表彰しました。50冊までもう一息の30冊をこえている子は20人になっています。最近、感想が「おもしろかった」だけでなく、「何がおもしろかった」「どこがおもしろかった」など、短くまとめた感想が書けるようになってきています。これからも、50冊、100冊めざして、たくさんの本を読んでいきましょう！



どくしょ 読書ビンゴ

10月28日から図書委員会のイベント「読書ビンゴ」が始まりました。ビンゴは3種類あります。好きなレベルのビンゴから挑戦してみてください。

はんこが3つ並んでビンゴになると、ビンゴカードにシールをはってもらえます。また、全クリアになったら、図書委員さん作成の特製しおりのプレゼントがあります。いろいろな種類の本を読んで、ビンゴめざしてがんばりましょう。

読書ビンゴのやり方

- ① 本を読む
- ② 読書ノートに書く
- ③ 図書室に持ってくる
- ④ ビンゴカードに、はんこをもらう
- ⑤ 1列そろると、ビンゴでシール
- ⑥ 全部のマスがうまると、しおりのプレゼント

読書ビンゴ レベル1

ねん くみ なまえ ()		
ワくんシリーズ (あやさひろかず)	おぼけずかん (さいとうひろし)	ねずみくんシリーズ (なかえよし)
14ひきシリーズ (いわむらかずお)	むかしぼなし	キャベツくんシリーズ (ちようしんた)
カラスのパンやさん シリーズ (かこことし)	まめうしシリーズ たまごにいちやん シリーズ (あきやまだし)	ともだちやシリーズ (うちたりんたろう)

としょ ほん つか じゅぎょう 図書の本を使った授業

6年生が図書の本を使った学習をしました。世界の問題を解決するにはどうしたらいいかを考えるために、SDGsの本やインターネットサイトから情報を集めました。情報をスプレッドシートに集めていき、その情報をもとに自分の考えを書いていきました。最後には、グループでパンフレットにまとめていきます。



6年生「発信しよう、私たちのSDGs」の学習

「ひがしおおさか電子図書館」の《利用方法》

児童に配付されているタブレットのトップ画面に電子図書館アイコンを配置しています。それをタップすることで直接サイトにアクセスできます。読み放題で読める本もあります。





こんげつ 今月のおすすめの本

あたらしい本が入ってきています！！どんな本があるか図書室に見に来てね。

こうがくねんむ
高学年向け

ていがくねんむ
低学年向け



はれときどきぶた

やしましろう／作・絵

主人公の則安くんのじまは、毎日日記をつけていること。そんな日記を勝手にお母さんが読んでいる！？おこった則安くんは、お母さんをびっくりさせるために「あしたの日記」を書くことにしました。

「トイレにへびがいた」と書いた翌朝、なんとトイレにへびが！？「えんぴつのてんぷらが出た」「金魚があかんべーをした」……普通に考えたらありえないことが、則安くんが日記に書くと起こるのです。

さあ、明日はどんなことが起こるのでしょうか？
題名の「はれときどきぶた」も気になりますね。

ぞうのたまごのたまごやき

てらむらたふみ／文 和歌山静子／絵

たまごが大すきな王さま。赤ちゃんがうまれたおいわいのごちそうに、たまごやきを作るようめいれいします。でも、国の人みなにごちそうするには大きなたまごがみつようです。ふつうのたまごじゃ足りない……大じんがなやんでいると、王さまは「ぞうのたまごをもってくればいいではないか」と言います。けらいたちも、ぞうのたまごのたまごやきを作るため、じゅんぴをします。でもまって、ぞうのたまごってどんなかな……？

気になった人は図書室でさがしてみてね。



せんせい 先生のおすすめの一冊



へんしんトンネル

あきやま ただしさく・え

あるところに、不思議なトンネルがありました。その名も「へんしんトンネル」。このトンネルをくぐると、なぜか色々なものが変身してしまうようです。例えば、、カッパがやってきましたよ。「カッパカッパカッパカッパ…」そうつぶやきながらトンネルをくぐると、「パカッパカッパカッパ…」さて、何に変身したのでしょうか？他にも時計やロボット、怒った人など。どんな変身が待っているのでしょうか。

続きがとっても気になり、楽しく読める言葉遊び絵本になっています。自分たちで言葉を考えて色々な変身させて、絵本の続きを作っていくのも楽しいと思いますよ。ぜひ、読んでみてください。

りゅうがいます

ヨシタケシンスケさく・え

ぼくはハナをほじるクセがある。おかあさんにいつもおこられる。りゅうは、「おぎょうぎがわるいから」だって。ぼくもなにかりゅうがほしい。ちゃんとしたりゅうがあれば、ハナをほじってもいいんじゃないだろうか。

みなさんは、ふだん何気なくしている行動に「りゅう」はありますか？無理やりにもでも理由を考えてみると、面白い世界が広がっているかもしれません。ヨシタケシンスケさんの作品に登場する人物の想像力にはいつも関心させられます。読んだ後、自分の行動の「りゅう」は何か考えてみたくなるはず！